

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービス スマイルシード潮見町		
○保護者評価実施期間	令和7年2月8日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 19名	(回答者数) 12名	
○従業者評価実施期間	令和7年2月7日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数) 7名	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者から送迎の時間調整などに行える限りの対応を実施。 保護者からの困り感に対する相談事に対して、迅速な対応を行いスタッフ間での情報共有を図り、支援に活かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所で実施した内容や起こった事柄に対して、その日のうちに情報共有を図りながら保護者からの困り感や相談が引き出せるように信頼関係の構築を図っている。 より深い相談事に対しては電話やLINEなどを活用している。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の支援に必要な項目を適切に設定しながら、具体的な支援内容が設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者への引き渡し時に、日々の生徒の様子について伝える中で困り感や支援について引き出せるように保護者との話の時間を大切にしている。 	
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動を行う際の活動スペースは十分であるが、少人数での活動や個別課題を実施する際の活動スペースとしてエリア分けを行っても空間を区切ることが難しい為、不十分。 		<ul style="list-style-type: none"> 新1年生の利用が4月から開始となる。環境変化に慣れて、落ち着いて利用したり事業所内で過ごせるようにエリア分けや落ち着ける環境設定、場所の確保。
2	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> イベント等で地域との交流の計画から実施まで行っているが、地域の子どもの参加人数が予想を下回る。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の子どもの多く参加できる内容、参加したいと思う内容の計画しながら、内容について掲示等で知ってもらう。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数	
放課後等デイサービス スマイルシード潮見町		令和7年3月14日				19名（兄弟児を含む）	
		利用児童数				12名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	8	2		2	・利用人数に対してスペースが少し狭いように感じる。	
	2	9	1		2		
	3	9			3		
	4	10			2		
適切 な 支 援 の 提 供	5	12				・個別課題を組んで支援して頂きありがたい。	
	6	12					
	7	12					
	8	12				・細かく面談を重ねて、支援内容を都度決めて頂いている。	
	9	12					
	10	11			1	・幅広い活動内容を組んで頂いている。	
	11	5	1		6	・中等部との交流はありますが、地域とのこととの交流は無いように感じる。 ・グループ事業所で合同活動があるのが良い。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	12					
	13	12					
	14	5	3		4	・あるかもしれないが、研修会などにまだ参加したことが無い。	
	15	12				・送迎の際にコミュニケーションを取って下さっている。	
	16	11	1				
	17	12					
18	4	2	1	5	・保護者同士の交流の場に出たことが無いので、そういう機会があるのか把握できていない。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1			・SNSを運用している事業所に関しては完全には難しい所があると感じる。 ・SNSの活用により、活動内容がよくわかり親子の会話も増えている。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11			1	・自身や災害に関して訓練などして頂いている。 ・感染症に関しては分からない。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12				・防災バックを背負って避難訓練の実施をして頂いている。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	12					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス スマイルシード潮見町				公表日	2025年3月14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	・スペースとしての基準は満たしているが、手狭に感じることある。 ・活動人数をグループ化するなどして工夫を行っている。 ・活動スペースを区切ったり、活動内容の工夫から活動スペースを有効活用している。 ・クールダウンを行うスペース確保が難しい場面もある。	・気持ちを落ち着かせて過ごせるエリアの確保。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・環境設定を行っているが、スペースが都合上、不十分なことも多い。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・複数のエリアを設けられるように、パーティションなどを使用しながら環境設定を行っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・日々のコミュニケーションが円滑に行える環境だと思う。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		・第3者委員会の立ち上げ	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7				
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・意見交換や書類等の共有機会が多い。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	・朝礼や打ち合わせができないまま、始業してしまうことがあり業務把握できないことがある。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・学校によっては伝達が不十分であり、尋ねたことに対して十分な返答が得られないことがある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	・イベント開催時に、広く案内を行いながら地域の子供や大人との交流できるように計画、実施を行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		・子ども支援部会への参加を実施。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・送迎時以外にも必要に応じて電話対応やLINEを用いて報告、相談を行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	・以前は保護者会の開催が年1回で実施できていたが現在は開催されていない。	・父母の会や交流を図れる会の立ち上げ
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	・数か月に1回のペースでイベントを開催している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・事業所内でも防災への備えを行いながら、各家庭にも防災バックの準備をお願いしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・食物アレルギーについて保護者からのアセスメントを行っているが、医師による指示書が無い。	・医師からの指示書を依頼し、支援や対応に活かしていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				